

しんぶん赤旗 を  
お読みください  
日刊3,497円／月  
日曜版930円／月  
申込み 363-1450

# 民主なかがわ

## 第217号

日本共産党中川区編集委員会編集  
中川区荒中町157荒中マンション  
電話 363-1450  
FAX 352-7801  
http://egami-hiroyuki.jcpweb.net/

### 新年あけましておめでとうございます

2022年が始まりました。7月に参議院選挙が行われます。比例代表で日本共産党・たけだ良介参議院議員、愛知選挙区すやま初美両氏が全力を尽くします。本年も日本共産党へのご支援ご協力をお願いします。

#### 政権交代の新しいステージ

総選挙では、国民無視の悪政を続ける自公政権に初めて政権交代を迫りました。

#### 河村市政に真っ向対決

共産党は議席後退しましたが、野党共闘は成果を上げ、政権交代の「新たなステージ」が始まっています。参院選で政治を変えましょう。昨年、河村たかし市長がコロナ禍でありながら対策そつちの「知事リコール署名運動」の中心人物として行動した署名の不正も明らかになりました。

### 新年の決意

#### 参議院議員 たけだ良介

初当選から6年、市民と野党の共闘は、日本共産党も協力する政権の誕生を、単なる日本共産党の主張ではなく、野党間の正式な合意として実現するまでに発展しました。日本共産党が政権に加われば、大企業にはつきりモノが言え、格差と貧困を正す政治となるでしょう。米国や中国にも事実と国際法に基づいた批判を行い、平和な日本と世界へ貢献する政治となるでしょう。参院選で、改憲勢力3分の2を許さないことはもちろん、政権交代への足掛

その反省もない河村市政には、「壊された民主主義を取り戻し、傷つけられた市民の名誉を取り戻す」、「コロナ感染から市民の命と暮らし、福祉をまもる」を掲げ、市政改革に引き続き臨みます。本年も、「なによりいいち、ぶれずにつらぬく」日本共産党は、国政でも市政でも全力を尽くします。

2022年1月1日  
日本共産党中川区委員会



新年もがんばります。すやま初美、江上博之、たけだ良介（左から）

本年もみなさんの声を聞き、政治革新に全力を尽くします▼コロナ禍でマスク生活3年目を迎えます。オミクロン株をはじめまだまだ油断できません。マスクをし、三密を避け、人との距離を取る。その努力に報いる政治でしょうか。市中感染を断つためには、無症状の感染者を探し出し保護すること。そのため「いつでも、だれでも、無料でPCR検査を」実現して、安心・安全な生活を取り戻したい▼暮らして民主主義破壊の河村市政に真っ向対決します▼中川区内では、リニア駅直結の自動車アクセスのため、愛知学区九重町、百



#### コロナ対策、コロナ後を見据えて 市議 江上博之

船町の住民追い出しを進めています。都心への自動車流入でなく、人が住み続けられるまちづくりこそ必要です。赤星学区では区画整理で大型店進出。自動車流入が心配されます▼市立保育園を民営化で人件費削減でいいの。市立病院の病床を減らすことを前提とす

#### すやま初美

昨年私は、歴史的な総選挙を小選挙区候補として闘い、日本共産党が初めて政権に挑戦する新たなステージにおいて権力にしがみつく支配勢力の執念を目の当たりにしました。私たちが追い込まなければ決して見ることのなかった執念を、上回る力を身につけること

で、新しい社会の扉を切り開くことができると確信しています。必ず必ずこの夏の参院選で巻き返し、勝ち抜く決意です。自公とその補完勢力が憲法を壊す改憲に本気の構えを見せています。定数4の愛知の議席を改憲勢力に独占させるわけにはいきません。そして男女の賃金格差が全国で最も大きい愛知から、市民の声と運動とともに、ジェンダー平等を政治課題のセンターポジションに押し上げ、国会に駆け上がる決意です。

弁護士相談 1月20日（木）午後6時半電話連絡 363-1450 江上事務所



# 自衛隊海外派兵は9条違反

「戦争法(安保法制)の廃止を求め9条改憲を許さない中川区集会」が12月19日、露橋学区の柳島公園で30数名の参加で行われました。集会では年金者組合、地域労働者組合、新婦人中川支部、中川原水協、西部民商、ちようちんデモの会などの代表が平和憲法を守れと訴えました。

## 危険な岸田自公政権

日本共産党から江上市会議員が「敵基地攻撃能力は明らかな憲法違反。改憲勢力が衆議院で2/3以上でも、憲法改悪を許さない世論をつくる運動を広げましょう」と訴えました。

9条改憲NO！中川区総がかり行動の小玉さんが「平和な日本を実現するため自衛隊を明記する改憲を許さない決議案」を読み上げ、全員の賛同を得て承認されました。



集会後、宣伝カーを先頭に五女子、八幡本通りを尾頭橋までデモ行進を行い、「戦争をする国づくりを許さない」、「消費税を今すぐ5%に戻せ」、「気候危機打開を」、「大軍拡計画反対」と唱和し、沿道の人から声援を受けました。

## 12月8日を忘れない

80年前の1941年12月8日、日本はハワイ真珠湾、マレー半島コタバルを攻撃し、中国侵略にとどまらず、アメリカ、イギリスなど連合軍と戦争を始めました。この日にあつた五女子の「ちようちんデモ」では、



戦争責任を訴えました。

# 紙・電子商品券利用は6月から

「電子マネー利用で買い物額の30%分、上限1人年2万円をポイント還元する」と掲げて昨年4月25日の名

古屋市長選挙で当選した河村たかし市長の公約具体案が昨年11月議会で「地域経済活性化促進事業」として

## すやまさん困んで集い

「先の総選挙はどんな選挙だったでしょうか？ お話しませんか」12月12日、明正地域で、すやま初美参院愛知選挙区予定候補と話す「集い」が開催されました。江上博之市議も同席しました。

「先々の意見が出ました。すやまさんは小選挙区候補として総選挙をたまたった経験から、「野党共闘に対する与党や連合労組の攻撃はすごかったが、選挙戦では、気候危機やジェンダー平等への若者や女性たちからの期待や反応を強く感じました。選挙区では得票をのばせた」と話しました。



## 率直な意見が

「野党共闘は、共産党が立憲にすり寄るように見えて残念に思った」 「共産党は独自の良さを押し出して、伸びてほしい」 「選挙中も共産党の姿が見えなかった」

「共産党の他党にない国民奉仕や潔癖性を示して、若い人たちにもしつかり働きかけてがんばってもらいたい」などの励ましや期待が語られました。

## 国会に駆け上がりま

すやまさんは、「憲法9条を壊す危険な局面を迎えているなか、愛知選挙区で今度こそ国会へ駆け上がり、憲法が生きる新しい政治、誰もが自分らしく生きられる社会に変えていきたい」と、決意を語りました。

審議されました。スマホを使えない人にどうするか」、「市外の人の買い物にも市税投入されるのか」との声をふまえ、議会で審議し全会一致で可決。

## 可決された内容

目的は「新型コロナウイルス感染症の影響を受けて厳しい経済情勢にある中、消費喚起及びキャッシュレス決済の利用促進による地域経済の活性化を図る」ために事業者を支援するとしています。

方法は「スマートフォンを活用した電子商品券へのポイント付与と紙のプレミアム商品券の発行で実施」

## コロナ禍で苦しんでいる人への支援を

江上博之市議は、昨年12月1日から審議した経済水道委員会、「コロナ禍で、苦しむ市民や事業者への支援になつていくか」と質疑しました。

購入できるよう求めました。また、コロナ禍の施策である以上発行時期を少しでも早め、財源は、市民サービス削減にならないよう求めました。

## 地元小売店支援を

江上市議は、「コロナ禍のもと、通販や大型店での購入が増えている。少しでも市内中小小売店舗での利用になるよう」求めました。また、生活が苦しい市民は、一時に高額な現金を用意できないことを踏まえ少額で

## 1月早朝宣伝

暮らしや営業の応援になることが求められています。

**無料相談 (子育て・教育問題も) 毎週月・木 午後6時半から8時**  
**弁護士相談 毎月第3木曜 江上ひろゆき事務所まで電話363-1450**

4日	火	市役所前
5日	水	地下鉄高畑
7日	金	近鉄戸田
11日	火	JR春田
14日	金	あおなみ線小本
18日	火	名鉄山王
21日	金	万場小橋
25日	火	近鉄伏屋
27日	木	あおなみ線荒子
28日	金	あおなみ線中島
朝7時半から8時		